



第26回上田八木・金融政策サーベイ(2019年3月)

発表日：2019年3月13日(水) 14:00 上田八木短資株式会社

調査日	2019年3月8日～12日
調査先	192先
回答率	90.1%

(Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合(3月14日～3月15日)における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回1月21日)	変化幅
緩和	1 (構成比%)	1	+0
不変	99	99	+0
引締	0	0	+0
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	▲1	▲1	+0

(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回1月21日)	変化幅
低下	30	2	+28
不変	68	94	▲26
上昇	2	4	▲2
短期金利予想DI	▲28	+2	▲30

(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回1月21日)	変化幅
低下	10	3	+7
不変	85	88	▲3
上昇	5	9	▲4
2年国債金利予想DI	▲5	+6	▲11

(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回1月21日)	変化幅
低下	7	4	+3
不変	79	72	+7
上昇	14	24	▲10
10年国債金利予想DI	+7	+20	▲13

質問(Q5) 現状の金融緩和(オーバーシュートコミットメント)からの出口開始時期はいつ頃か。

(ここでの「出口開始時期」はオーバーシュートコミットメントを考慮したもので、例えば消費者物価が4月に目標にワンタッチした後に6か月後にその時期が来ると予想すると「出口開始」は10月という意味です。資産買入れの残高が減っても物価目標を達成していなければ「出口開始」とはみなしません)

	(今回)	(前回1月21日)	変化幅
1. 1年未満	3%	3%	+0%
2. 1年以上3年未満	49%	56%	▲7%
3. 3年以上	48%	41%	+7%